

YMCA News

6

名古屋市認可小規模保育園 こひつじ保育室 10周年

保育士 加藤 早織



2025年4月1日に名古屋YMCAこひつじ保育室は、開園10周年を迎える運びとなりました。これもひとえに、日頃より温かいご理解とご支援を賜っております保護者の皆様、地域の皆様、そしてこれまで保育室を支えてくださったすべての関係者の皆様のおかげと、心より感謝いたします。

開園以来、私たちは「一人ひとりを大切に、丁寧にかわる保育」を大切にまいりました。神さまに創造されたかけがえのない存在として、一人ひとりの子どもを受け入れ、「愛されている」喜びを日々の生活の中で実感できるように努めてきました。また、違いを認め合い、互いを理解しながら共に生活し、それぞれが「自分らしく」成長できる保育を目指して取り組んでまいりました。

天気の良い日には、戸外で自然や季節の移ろいを感じながら散歩を楽しみ、公園では広場を駆け回る歓声や、夢中で砂遊びをする子どもたちの姿が見られます。運動会などの行事では、その年の子どもたちの姿に合わせて内容を工夫し、子どもたちが主体的に取り組めるよう話し合いを重ねてきました。ときには涙を流しながらも、友だちと手を取り合いながら困難を乗り越える姿に、私たち職員も心を動かされます。

昨年度からは新たに「英語の日」を設け、週に一度、子どもたちが楽しみにする時間となっています。日々の保

育や行事を通して、子どもたちが少しずつ成長していく姿は、私たち職員にとって何よりの喜びであり、かけがえのない宝物です。その笑顔に、私たちは日々大きな力をもらっています。

この10年間、保護者の皆様と連携しながら、共に子育ての喜びや悩みを分かち合ってきました。連絡帳でのやりとりはもちろん、個人面談などを通してお子様の成長をともに喜び合い、時には課題を共に乗り越える時間を重ねてまいりました。それらは私たちにとって、大切な財産となっています。「先生、ありがとうございます」「最初の保育園がこひつじ保育室で本当によかった」といったお言葉は、私たちにとって何よりの励みです。

10周年という節目を迎えるにあたり、これまでの歩みを振り返るとともに、これからの10年に向けて新たな決意を胸に歩んでまいります。

これからも、時代の変化や社会のニーズに柔軟に対応しながら、子どもたちが安心して過ごせる安全な環境づくりに努めてまいります。そして、一人ひとりの発達や個性を大切に、豊かな心を育む質の高い保育を提供し続けていきます。

何よりも、地域に根差した保育園として、今後も地域の皆様とのつながりを大切にしながら、共に子どもたちの健やかな成長を育んでいきたいと願っております。



第12回名古屋YMCA大会のご案内

あなたにとってのMeaningful Workとは？

今年度の大会では、Vision 2030の4つの柱のひとつ、「Meaningful Work(やりがいのある仕事と雇用環境の創造)」に焦点を当て、「しごとのやりがい」や「働くことの意味」について、20代から90代までの幅広い世代で語り合うひとときをお届けします。

当日は、様々な職業や世代の方々に5分間のスピーチをしていただきます。下記に、ご担当の一人である岩井洋一様のスピーチの一部を紹介していますので、ぜひご一読ください。

また、世代を超えたグループディスカッションを通して、学びと交流を深めていきます。おじいちゃん・おばあちゃん世代から、パパ・ママ世代、そして子どもや孫世代まで——4世代が一堂に会して語り合う、またとない機会です。

普段なかなか聞けない成功談や失敗談、やりがいを感じたエピソードなどを共有しながら、世代を越えてつながる、あたたかな時間を共に過ごしましょう。



弁護士としてのやりがいと使命

名古屋YMCA評議員 岩井 羊一

弁護士という仕事のやりがいについてお話をさせていただきます。

弁護士の仕事というと、法廷で「異議あり！」と声を上げたり、堂々と弁論する姿を思い浮かべる方も多いでしょう。

しかし実際には、そのような場面は年に数回ほどしかありません。弁護士の仕事の多くは、依頼者の方との打ち合わせと、それに基づく書類の作成です。刑事事件の場合、警察署や拘留所での接見に時間を費やします。どうしてこれらの業務が多いのか。それは、依頼者一人一人のお話を聞き、それを法的に構成し、相

手との交渉や裁判を通じて依頼者の権利を守ることが弁護士の使命だからです。

私は、過労死や過労自殺の問題に関わる中で、労働基準監督署、つまり国の判断や企業の対応をしてきました。国が「過労死ではない」、企業が「責任はない」と主張した事件を裁判所に訴え、最終的に過労死であったこと、そして企業に責任があったことを明らかにし、遺族の救済に繋がったときは、弁護士としての存在意義を実感します。

弁護士という仕事は、困っている方を救済することができ、感謝され、そのうえ、報酬をいただける、とても良い仕事だと感じています。

このような形で、私の思いをお伝えできたことに心より感謝申し上げます。

日 程：2025年6月29日(日)

時 間：13時30分～16時45分

会 場：ルブラ王山 2 階 金鯱

住 所：千種区覚王山通8丁目18

最寄駅：地下鉄東山線「池下駅」下車
3 番出口から徒歩3分

スケジュール

【第一部】

13:15 受付開始

13:30 開会礼拝・表彰

14:30 報告

15:00 休憩(集合写真撮影)

【第二部】

15:15 異世代交流／

5分スピーチ(7名)

16:00 グループディスカッション

16:45 終了

かみさわ保育園

新年度が始まり早1ヶ月半がたち、新しい環境に少しずつ慣れてきたかみさわ保育園の子どもたちです。新入園児の子どもたちは、初めての集団生活、そして初めて保護者の方と離れて過ごす日々、不安で涙の姿も多くありましたが、保育者の顔を覚え、好きなおもちゃを見つけ遊んだり、少しずつですが笑顔も増えて安心して過ごす姿も見られるようになってきました。

在園児の子どもたちは新しい環境に少し緊張しながらも、1つ学年が大きくなり張り切っている姿、お友だちとのやりとりを楽しんでいる姿があります。

子どもたちと日々過ごす中で感じる様々な気持ちに、寄り添い、共感しながら1日1日を大切に過ごしていきたいと思います。(園長 東田 美保)



日本語学校 新入生歓迎会

2025年4月30日(水)に新入生歓迎会を開催し、緊張した表情やワクワクした表情を見せる学生などいろいろな表情が見られました。会には新入生に加え、去年入学した学生もサポート係として参加してくれました。先輩として後輩に接する学生を見るのも、学生の成長を感じられる嬉しい時間です。クラスの垣根を超え、ゲームや食事をしたら、自然と友達となり仲良くなっていました。相手が同じ国だと分かると、表情が明るくなりたくさん話し出すのもよくある光景です。異国にいると同邦の人に出会うと嬉しくなるものですね。充実した表情で帰っていく学生を見て、この会が楽しい留学生活のきっかけになればと思います。

(竹内 奈津実)



総主事コラム

ラヴィット

最近お気に入りの朝の帯番組にラヴィットがあります。サブタイトルが“日本でいちばん明るい朝番組”。朝ドラやニュースが常識の時間帯にひたすらバラエティーを繰り返す、実にくだらない番組です。番組キャラクターはウサギなのに司会者が指でL字を作って「ラヴィット」とコールするので違和感がありましたが、実は「Rabbit」ではなく「Love it」、「お気に入り」とか「大好き」という意味です。このあたりの小細工も実はお気に入りの理由です。仕事があるのでたまにしか見ることができませんが、この番組の素晴らしさは重大な時事問題が起きてても一切ぶれずに予定された“くだらない”内容を徹底することにもあります。連続性もないので、久しぶりに観ても違和感

がなく、朝から演者が楽しそうにゲームに興じたり、歌を歌ったり。決して最後まで観る必要もなく、画面を通して、楽しい空気感が共有されています。

「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい」今年度の年間聖句です。ともすれば聖句の後半部分が強調され、困難な状況にある人に寄り添い共感する事の勧めであると捉えることもありますが、私たちは喜ぶ人と共に喜ぶ居場所でありたいと願います。YMCAに来ると楽しいことが待っている(みつかる)、会いたい人がいる(つながる)、心地よい空間がある(よくなっていく)。聖書は「できれば、せめてあなたがたは、すべての人と平和に暮らしなさい」と続きます。名古屋YMCAは“日本でいちばん楽しい居場所”を目指します。

(中村 隆)

新採用職員紹介 (南山幼稚園／南山ファミリーYMCA)

はじめまして

南山幼稚園 花井 瑞歩



4月から南山幼稚園で働かせていただいております。幼い頃から憧れていた幼稚園教諭として、子どもたちと楽しく過ごせることを嬉しく思っております。まだまだ至らないことが多く戸惑うこともあります。先輩の先生方から仕事を教えていただきながら、日々学んでおります。

私は運動が大好きで、中学校及び高校の頃は陸上競技部に所属していました。そのため子どもたちと一緒に、思いっきり身体を使って遊ぶ楽しさを感じていきたいと思います。

休日は自然あふれる場所をドライブしたり、喫茶店巡りをしたりリフレッシュしています。これからよろしく願いいたします。

YMCAとのご縁に感謝です！

南山ファミリーYMCA 江藤 毅



私とYMCAとの出会いは40年前になります。大学4年生の時、大阪堺YMCAでユースボランティアリーダーとしてサッカークラスを担当したことがきっかけです。その後地元に戻り、当時の名古屋YMCA東海ランチや上前津本館の職員として、サッカークラスや野外活動、成人フィットネス、社会体育専門学校教務等、様々な部門で多くの経験をさせていただきました。

一度退職しましたが、この度26年ぶりに南山ファミリーYMCAや刈谷の地でサッカープログラムを担当させていただくご縁をいただきました。子どもたちがサッカーを楽しみ、仲間やリーダーたちとの関わりの中で心も身体も大きく成長することを願っています。

維持会員感謝・ご寄付感謝 (2025年4月20日～5月21日)

維持会員(継続)

黒田 忠嘉	黒田 邦子	山本 伸彦	渡邊 信子	服部 千秋	松井 克己	山口 一雄
小林 滋記	山本 和子	小島とよ子	田中 万寿	桐山 潤	桐山 恵子	岡本 栄世
吉田 一誠	吉田あま子	加藤 渡	牧野 和博	福田 義正	坂本 清則	鈴木誠一郎
渡辺 真悟	嶋崎 英子	寺本 英郎	深谷 聡	磯部 裕幸	磯部真知子	馬場美菜子
水野かきつ	平井 真希	塩田 保	高井 文	板井 裕美	高橋 咲季	酒井 沙織

賛助会員(継続) 丸丹スポーツ用品株式会社

寄付金・募金

(ミャンマー地震緊急支援) かりや保育園

(かみさわ保育園10周年記念基金)

高都持勇人	木村 優花	鴨原奈々子	長谷川未来	井上 裕佳	加藤 正也	加藤 颯真
加藤 百華	清田 真美	清水美佐子	万福寺昭美	柴田 翔	柴田 光	中村 環希
ンバケ武佐	ンバケ真夢ディアラ					

早天祈禱会

日時 6月3日(火) 7:45～8:30 会場 名古屋YMCA チャペル 奨励 御器所教会 八束 清先生

お問い合わせ

名古屋YMCA	052-757-3331
YMCAこひつじ保育室	052-757-5530
南山ファミリーYMCA	052-831-6968
南山幼稚園	052-831-8271
神沢ファミリーYMCA	052-879-6300
YMCAかみさわ保育園	052-879-6222
名古屋YMCA日本語学院	052-531-0077
発達サポートYMCAかみさわ	052-879-6300
かりやYMCA保育園	0566-62-8227



<https://nagoyaymca.org>

名古屋YMCA 使命

「名古屋YMCAは、キリスト教精神に基づき、すべての人びとに、生涯にわたる学習の場と、社会参加の機会を提供し、相互の交わりと連帯を通して、共に生きる世界の実現を目指します。」

2025年度聖句

喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。(ローマの信徒への手紙12章15節)